

ポスターセッション推薦テーマ

名 称：平良港における造礁サンゴ群集の回復状況について

説明者：◎ 平良港湾事務所 整備保全課長 荻 定治（おぎ さだはる）  
○ 平良港湾事務所 保全防災係長 高石 信（たかいし まこと）

※研究責任者名に◎（※不在の場合は、記載の必要なし）  
発表者名に○

1. 内容

平良港は地域に密着した重要港湾であり、同港の整備は宮古島市民の生活に直結する大変重要なものである一方で、周辺海域における豊富なサンゴ礁生態系の価値を改めて認識し、その資源利用とそれにより育まれる地域の文化が発展していくことが望まれる。

かねてより平良港湾事務所においては、港湾整備に伴う環境保全を目的とした環境共生型の防波堤整備を実施しており、港湾整備とサンゴ礁生態系保全の調和に向けた方策の一環として、港湾区域におけるサンゴ群集の調査を継続的に実施しているほか、防波堤整備予定地にあるサンゴを採取し、別の場所への移植を実施するなどを行い、その状況に関してモニタリング等を行うなどの「サンゴ群集調査」を平成16年以降継続的に実施している。

具体的には、砂山地区、下崎西防波堤港外側、トゥリバー地区について、サンゴ類の種類、群体系、被度等を観測・記録し経年変化の調査を行っている。また、港湾整備によって設置された人工構造物等に着生したサンゴの状況、過去に移植したサンゴに関する状況についても経年変化をモニタリングしている。

本報告では、人口5万人の宮古島市民生活を支える平良港における港湾整備の重要性も踏まえつつ、環境に配慮した港湾整備実施によるサンゴに関する経年変化状況等について、宮古島の方々にはもちろんのこと、地域外の方々にも広く情報発信することを目的として行うものである。

2. 展示規模・イメージ

- 1) 規模：パネル5枚程度を想定
- 2) イメージ 下記構成案のとおり

<p>1枚目(背景、目的)</p> <p>背景</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮古島周辺の豊かな海洋環境</li> <li>・平良港が宮古島民に果たす役割</li> </ul> <p>→ 港湾整備の必要性</p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾整備実施にあたり、サンゴ等海洋資源への影響を最小限とする。</li> <li>・環境共生型港湾整備等に関する効果を確認・評価し今後フィードバック</li> </ul> <p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾整備に伴う環境変化の把握及び影響を受けるサンゴの避難</li> <li>・環境共生型とした防波堤等の整備及びその効果確認</li> </ul>	<p>3～4枚目(平良港における状況に関して)</p> <p>天然サンゴ礁の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・被度に関する経年変化等</li> </ul> <p>環境共生型の港湾施設整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・溝加工消波ブロック</li> <li>・凹凸加工根固めブロック</li> <li>・通水型ケーソン</li> </ul> <p>→ 成育状況</p>
<p>2枚目(サンゴについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴの生態、サンゴの役割</li> <li>・分布状況(日本、沖縄、過去、現在)</li> </ul> <p>→ サンゴ資源保護の重要性</p>	<p>5枚目(移植サンゴ及び全体総括)</p> <p>移植サンゴについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サンゴ礁の移築方法</li> <li>・移築後のモニタリング結果</li> </ul> <p>全体を通して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の課題、展望</li> </ul>

(極力5枚としたいですが、場合によっては1枚追加の可能性もあります)

※A4用紙1枚にまとめること。